

# 日本糖尿病・肥満動物学会 学会賞各賞受賞者一覧

## ●後藤賞

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	後藤 由夫 (東北大学名誉教授)	我が国の糖尿病動物研究の推進とGKラットの開発
2	平成21年	金澤 康徳 (日本糖尿病財団理事長)	SDTラットの開発とその特性の同定および糖尿病細小血管合併症の分析
3	平成22年	清野 裕 (関西電力病院院長)	糖尿病モデル動物を用いたインスリン分泌機構の解明
4	平成23年	井上 修二 (桐生大学副学長兼医療保健学部長)	視床下部腹内側核 (VMH) 破壊ラットの病態の研究 - 腹部臓器細胞増殖の再生医療への応用をめざして
5	平成24年	池田 義雄 (榊タニタ体重科学研究所所長)	モデル動物による糖尿病、肥満、メタボリックシンドロームの実証的研究

## ●学会賞「米田賞」

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	門脇 孝 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授)	遺伝子改変動物を用いた糖尿病分子機構の解明
2	平成21年	八木橋 操六 (弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座教授)	糖尿病神経障害の成因解明と新規治療法の開発
3	平成22年	佐藤 謙 (岩手医科大学内科学講座糖尿病代謝内科分野教授)	サイトカイン制御による1型・2型糖尿病および糖尿病合併症の治療の研究
4	平成23年	池上 博司 (近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科主任教授)	自然発症モデル動物を用いた糖尿病の遺伝解析
5	平成24年	中村 二郎 (愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科教授)	糖尿病性神経障害の発症メカニズムと治療に関する研究

## ●研究賞

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	山田 祐一郎 (秋田大学医学部内科学講座内分泌・代謝・老年医学分野教授)	糖尿病・肥満動物での消化管因子の役割
2	平成21年	藤澤 智巳 (大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科学講座助教)	モデル動物を用いた糖尿病の病態と遺伝解析
3	平成22年	植木 浩二郎 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科准教授)	遺伝子改変マウスを用いたインスリン作用とその破綻の分子機構の解明
4	平成23年	小川 佳宏 (東京医科歯科大学難治疾患研究所分子代謝医学分野教授)	糖尿病・肥満における慢性炎症の分子機構に関する研究
5	平成24年	寺内 康夫 (横浜市立大学大学院医学系研究科分子内分泌・糖尿病内科学教授)	遺伝子改変動物の作製・解析による糖尿病の病態解明と治療法開発

## ●若手研究奨賞

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	影山 晴秋 (昭和大学医学部第1解剖学教室助教)	ガラニン様ペプチドは内因性の発熱物質である
		窪田 直人 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教)	肝臓特異的Irs2欠損マウスはインスリン抵抗性、耐糖能異常を呈する
		中村 昭伸 (横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科学)	グルコキナーゼ活性化薬が糖代謝と膵β細胞量に及ぼす影響
		西野 尚延 (神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科学分野)	脂肪滴蛋白FSP27は白色脂肪細胞に単房性の脂肪蓄積形成を誘導することで効率的な中性脂肪の貯蔵を可能にする
		西村 智 (東京大学循環器内科)	生体内分子イメージング手法による肥満細胞組織リモデリングと機能異常の解明
2	平成21年	岩部 真人 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	Muscle-specific AdipoR欠損マウスを用いた骨格筋におけるアディポネクチン経路の生理的意義の解明
		窪田 哲也 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	血管内皮細胞におけるインスリン受容体基質(IRS)2の役割の解明 - 血管内皮細胞特異的IRS2欠損マウスを用いて -
		佐藤 千景 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科助教)	高脂肪食負荷PSGL-1 KO マウスの内臓脂肪におけるマクロファージ浸潤とインスリン抵抗性の変化
		藤坂 志帆 (富山大学医学部第一内科)	脂肪組織M1/M2マクロファージとインスリン感受性の関連についての検討
		水上 浩哉 (弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座助教)	脂肪織由来間葉系幹細胞の糖尿病ラット進行期神経障害への効果
3	平成22年	横井 伯英 (神戸大学大学院医学研究科細胞分子医学特務准教授)	1型糖尿病モデルKDPラットにおける修飾遺伝子座の同定
		岩部 美紀 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	アディポネクチン受容体の動脈硬化に対する作用とその生理的・病態生理的意義の解明
		笹子 敬洋 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教)	摂食に伴う肝臓での小胞体ストレス、及びその調節因子のインスリン感受性に及ぼす作用の検討
		新堂 修康 (大阪大学大学院医学系研究科老年腎臓内科)	非アルコール性脂肪肝炎の発症メカニズムの解明: 自然発症モデルを用いた検討
		高本 偉碩 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	膵臓β細胞のTcf712は膵β細胞量維持に重要な役割を果たしている
		御簾 博文 (金沢大学医薬保健研究域医学系恒常性制御学特任助教)	ヒトトランスクリプトームから同定したインスリン抵抗性誘導ヘパトカインセレノプロテインPの個体レベルでの機能解析
		粟澤 元晴 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	アディポネクチンによる抗糖尿病作用の新規メカニズム
		小林 正稔 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教)	Wilms'tumor 1-associated protein(WTAP)の肥満・糖代謝への関与の検討

4	平成23年	白川 純（横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科）	グルコキナーゼ活性化薬によるAkitaマウスにおける小胞体ストレス誘導性アポトーシスの改善効果
		田蔭 基行（順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学講座）	膵臓β細胞特異的ZnT8欠損マウスでは、膵からのインスリン分泌は亢進するが、末梢血中のインスリン濃度は低く、耐糖能が悪化する
		姫野 龍仁（名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学）	Exendin-4の糖尿病性多発神経障害に対する治療効果の検討
		向 英里（京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学）	Exendin-4はGKラット膵島においてEpac依存性にSrc活性を抑制することによりROS産生を減少させる
5	平成24年	浅原 俊一郎（神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科）	2型糖尿病候補遺伝子Kcnq1遺伝子領域が膵β細胞に及ぼす影響の解析
		梅原 敏弘（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科）	骨格筋におけるAktの役割
		大川 哲司（名古屋大学医学部糖尿病・内分泌内科）	マウスiPS細胞由来神経堤細胞移植の糖尿病性多発神経障害に対する治療効果の検討
		鈴木 亮（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科）	ステロールセンサー分子SCAPは糖尿病の脳で減少し認知機能に影響する
		清野 祐介（名古屋大学医学部病態内科学講座糖尿病内分泌内科）	KATP channel欠損マウスを用いた各種栄養素経口摂取によるインスリン分泌の評価
		野村 和弘（神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科）	PGC1α新規スプライシングバリエーションのエネルギー代謝制御における機能の検討